

戦前外交論壇の中心誌『外交時報』活用のベスト・ツール！

約三四、〇〇〇件の総目次と執筆者一、六〇〇名のデータを収録

伊藤信哉（松山大学准教授）編著

外交時報

総目次・執筆者索引——戦前編

一八九八年（明治31）二月第1号〜一九四五年（昭和20）四月第956号 外交時報社

ワシントン体制下の外交



張作霖爆死事件

日米交渉と
太平洋開戦



写真は『写真記録 日本外交史』より。

刊行の言葉

伊藤信哉（松山大学准教授）

二〇世紀前半の日本に「外交論壇」というべきものがあつたとするならば、「外交時報」はまちがひなく、その中心に位置する雑誌であつた。一八九八年（明治三一）、有賀長雄によって創刊された同誌は、半沢玉城を社長に迎えた一九二二年（大正一〇）ごろから、外交および国際関係の専門誌として飛躍的な発展を遂げていった。

全盛期の「外交時報」は、他誌に類例のない、大きな特徴を二つ持っている。ひとつは、学術誌・報道誌・評論誌の三つの要素を、高い水準で統合した点である。もうひとつは、政、財、官、学、軍および評論の各界を代表する者たちから、続々と原稿が寄せられた点である。

本書は、同誌の創刊号から、一九四五年（昭和二〇）四月号（戦前期最終号）までの総目次に、執筆者索引を付したものである。本書の刊行を契機として、当時の日本人の対外認識の実態などが、より詳密に分析されるようになることを期待したい。

特色

★戦前の外交論壇における中心的存在であつた『外交時報』の創刊号（一八九八年（明治三一）二月）と第九五六号（一九四五年（昭和二〇）四月）までの目次と執筆者索引。総目次は、約三四、〇〇〇件（無署名記事まで網羅）、人名索引は、およそ一、六〇〇名に及ぶ。

★同誌への寄稿者は、当代一流の外交史学者や国際法学者ばかりでなく、著名な軍人・政治家・外交官など多岐に亘つた。また清沢淵のような時代を代表するジャーナリストや、大隈重信、原敬、後藤新平、高橋是清といった一線級の政治家も寄稿。戦前の外交史・政治史・政治思想史研究に必備のレファレンス！

★巻頭に伊藤信哉による「誌面の構成と特色」「重要論文・記事」「読者と社会の反応」など同誌の全体像を浮き彫りにする詳細な解説を付す。

推薦します

近代日本外交史研究に不可欠な史料

五味俊樹（大東文化大学教授）

今日、世界的に有名なアメリカの外交専門雑誌 *Foreign Affairs* が創刊されたのは一九二二年のことである。しかし、日本にはすでに一九世紀末から外交専門雑誌が存在していたが、そのことを知る人はあまり多くはない。一八九八年（明治三一）創刊の「外交時報」である。しかも、この雑誌が戦前の日本外交に与えた影響は決して少なくなかった。なぜならば、言論界・学界にとどまらず政界・官界に身をおく錚々たる人びとが執筆者として名を連ねていたからである。その意味で「外交時報」は近代日本の外交を知る上で必要不可欠な史料と言えよう。この度、戦前における「外交時報」の総目次と全執筆者を一冊に収めた書物が刊行されたことによって日本政治外交史研究がいつそう深まるのは確実である。

外交史、政治史、国際法、メディア史

研究に有益なレファレンス

服部龍二（中央大学准教授）

一八九八（明治三一）年に創刊された「外交時報」は、日本を代表する国際関係の雑誌であつた。原則として月に二回発行され、休刊した時期もあつたが、一九九八（平成一〇）年まで刊行は続いた。とりわけ戦前期の「外交時報」には、創刊者の有賀長雄をはじめとする学者、大隈重信や後藤新平、原敬のような大物政治家、幣原喜重郎や芦田均らの外交官、さらには軍人やジャーナリストなどがこぞって寄稿した。外交論壇誌の草分けといつてよい。いまここに、権威ある外交雑誌の総目次と執筆者索引に懇切な解説を加えた目録が刊行される意義は大きい。外交史家はもとより、政治史や思想史、国際法、さらにはメディア史などを学ぶ者にとって、きわめて有益なレファレンスとなるであろう。

内 容 見 本

第四三卷五一六號（一九二六年六月一日）

政局安定とは何ぞ
幣原外交の前半期決算

—唯一の配當は「外交の經濟化」—

下り坂にある英國

支那の時局と英張聯盟

露獨新約と伊國の飛躍

本多大使の退職

支那關稅問題（三）

無政府國の國際的地位

國際的生活標準闘争論（下）

何處に行く大英帝國

露西亞より見たる露獨條約

滿蒙土地商租問題

英國大罷業終熄（五月）

理事會改造委員會（五月）

卷頭言

半澤玉城 時 論 一

稻原勝治 論 一四

小川節 論 三七

高木信威 論 四六

信夫淳平 論 五七

根岸信 論 六四

松原一雄 論 七四

綾川武治 論 八一

清澤潤 論 一一一

長谷川文人 論 一二七

久間猛 論 一三五

研究 一五二

歐米時報 一五六

総目次

何處に行く大英帝國

（大罷業を顧みて英國の前途を思ふ）

清澤潤

一、宛然これ國內戰爭

英國の大罷業は開始後八日にして一まづ終止したその日——五月十二日に英總首相ボルドウィン氏は連日の奔走に、病人のやうに疲れ果てた體軀を議會に運んで、「誰が勝つたといふのか、云ふをやめよ、勝つたのは英國人の常態である」と喜ばしげに語つたといふが、首相ならずとも、この大規模なる罷業が、悲惨の極點に達せずして解決したことを何人か慶賀せざるものがあらう。

一口に罷業といふが、罷業も今回のような大規模なものになると、立派な國內戰爭である。近争の特長は、相手の鐵砲と固執とを待つて、降参を乞ふの外なからしむる點にある。今回のストライキもそうであつた。労働者側は費ひ政府が生産機關の中止による疲弊困憊から者側に屈服を餘儀なくせしめんとし、一方また及び資本家は、あらゆる方法を以て労働者を陥れ、彼等が矢折れ強光盡きて、再び立ち及んで、これを継ぎ去らんとしたのである。この場合、戦ひに勝つものは、より長く鐵

何處に行く大英帝國

一一一

(12) 執筆者索引 ク

清澤潤 507, 512, 516, 522, 525, 533, 550, 552, 557, 566, 589, 632, 667, 671, 679, 680, 685, 688, 696, 702, 705, 710, 712, 716, 720, 729, 740, 749, 755, 761, 767, 775, 788, 815, 825, 864
清瀬一郎 792, 812, 822, 832
清野謙六郎
→清野謙六郎（せいのみ・けんろくろう）
金原賢之助 800

ク

久我貞三郎 588
久島午郎 683, 686, 691, 694, 709
葛岡常治 634, 636, 648, 655, 736
→津世文（つ・せいぶん）
楠本實隆 719, 733
楠山義太郎 718, 731, 740, 745, 753, 760, 770, 781, 789, 794, 801, 824, 872, 877, 884
工藤貞雄 802, 824, 834

執筆者索引

本書の活用例

- ①「執筆者索引」で清澤潤を検索し、執筆号数を確認。
- ②「総目次」で論文名をチェックし、必要なものを選択。
- ③当該号を所蔵する図書館か、「図書館相互利用サービス(ILL)」を利用して、本文を入手。



太平洋戦争開戦直後の『外交時報』表紙。
第100巻 889号 (1941年12月15日)

本書には収録されておりません。

外交時報総目次・執筆者索引

—戦前編—

伊藤信哉 編著

全1巻

●定価 37,800 円 (本体 36,000 円 + 税) ISBN978-4-284-20106-3

2008年4月刊行

●B5判 上製 総約620頁

《おすすめ先》大学・公共図書館／外交史・国際法・日本政治史・メディア史研究者

既刊関連書目

大型ビジュアル版で見る、読む！

シリーズ日本文化史

写真記録 日本外交史 全1巻

■定価 25,200 円 (本体 24,000 円 + 税)
ISBN978-4-284-50019-7

■A4判・上製・総348頁

■底本：「新生日本外交百年史」

(昭和27年、日米通信社編・発行)

■特色

●約800枚の写真と計97頁にわたる章ごとの解説、巻末の「新生日本外交史年表」(48頁)とからなる。

●「ペリー来航と幕末外交」から「戦時外交と終戦外交」までの100年にわたるビジュアル版外交史！



写真記録 日本政治史 全1巻

■定価 25,200 円 (本体 24,000 円 + 税)
ISBN978-4-284-50020-3

■A4判・上製・総352頁

■底本：「日本政治百年史」

(昭和28年、金森徳次郎・山浦賢一編、時事新報社発行)

■特色

●約1000枚の写真と計95頁にわたる解説、巻末の「歴代内閣変遷事情一覧表」「歴代内閣閣僚一覧表」とからなる。

●幕末・明治から戦後「独立後の政界の混乱」まで100年間の日本政治を見る！読む！



政治家人名資料事典 全5巻

■定価71,400円 (本体68,000円+税) ISBN978-4-8205-8888-7

■体裁：A5判・上製・総約2,500頁

■底本および巻構成

第1巻『第二十四回衆議院議員略歴』(衆議院事務局編・刊 昭和15年)

第2巻『新代議士名鑑』(加藤紫泉(結)著 国民教育会 大正13年)

第3巻『立憲政友会功労者追遠録』(青野権右衛門編 安久社 昭和8年)

第4巻『爾正選挙代議士名鑑』(松本通政編 選挙爾正中央会編集部 昭和11年)

第5巻『翼賛議員銘鑑』(工藤三郎編 議会新聞社 昭和18年)

■特色

●明治から昭和戦前までの、政治家約5,000人(一部重複含む。顔写真入り)の人名資料事典。

●第1巻に、第1回(明治23年7月1日)から20回(昭和12年4月30日)までの総選挙による当選議員の略歴を記載した「衆議院議員略歴」を収録し、2巻目以降は刊行順に収録。

学術叢書 発行=学術出版会 発売=日本図書センター

満州事変と重光駐華公使報告書

外務省記録「支那ノ対外政策関係雑纂「革命外交」」に寄せて

服部龍二編著

A5判・上製・230頁

定価2,940円 (本体2,800円+税) ISBN978-4-8205-9477-2

清沢 洌

その多元主義と平和思想の形成

山本義彦著

A5判・上製・324頁

定価4,830円 (本体4,600円+税) ISBN978-4-8205-2153-2

太平洋戦争をめぐる 日米外交と戦後の米ソ対立

本橋 正著

A5判・上製・608頁

定価6,825円 (本体6,500円+税) ISBN978-4-8205-2635-3

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2

TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774

http://www.nihontoshu.co.jp

取扱書店